

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2022年10月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2022年10月 1日発行 通巻354号

秋山の「つるべ落とし」に要注意！

地図・ヘッドンは必ず持参！

10月号目次

・ 目 次	2
・ 9月理事会報告	3
・ 山行報告 甲武信ヶ岳（市川山の会）	7
・ 山行報告 八幡平・岩手山（東葛山の会）	9
・ 山行報告 木曾駒ヶ岳・空木岳（かがりび山の会）	12
・ オンライン講習会のお知らせ	13
・ 12月オンライン講習会参考書籍紹介	14
・ 事故防止・経験交流集会の案内	15
・ 10月・11月予定表	16

ミニコラム①『登山時報ひろいよみ』

p.8 に、今後の『登山時報』についての記事を紹介しています。

ミニコラム②『房総の山復興山の日記念講演会 DVD 配布』

p.11 に、8月11日（木）開催の講演会のDVDについて紹介しています。

<表紙写真説明>

千葉県連創立50周年記念海外登山『バリ島サンライズ・トレッキング』の下見に、東葛山の会10名で、2015年5月13日～19日に行きました。まず、世界遺産の『バトゥール山1717m』でご来光を仰ぎ、翌日、好天に恵まれ、バリ島最高峰『アグン山本峰3142m』に立ったメンバーです。左後方ピークは、『アグン山第1ピーク』で、県連の皆さんと一緒にいった際には、風が強く、本峰登頂を断念した際にたどり着いたピークです。また、後方中央の三角の山は、前日に登った『バトゥール山』で、県連の本番では参加した24名全員が登頂しました。

（安彦秀夫：海外委員会）

山行報告3件は、8月に届いていましたが、『ちばニュース9月号』を『房総の山復興山の日記念講演会』の特集にしましたので、1ヶ月遅れになりました。ご了承ください。

（編集子）

千葉県勤労者山岳連盟 2022 年 9 月理事会議事録

議事録作成者：船橋勤労者山の会 酒井 荘多

日 時： 2022 年 9 月 15 日（木）

場 所： 船橋西部公民館 2 階会議室 19:00～20:50

参加者：

県連理事	○	松宮（市川）	○	廣川（君津）	○	吉武（かがりび）
○ 深草（あびこ）	○	藺田（ちば）	×	西岡（ちば）	○	五木田（こまくさ）
○ 羽鳥（東葛）	○	酒井（船橋）	○	田中（ふわく）	×	今井（茂原）
○ 渡邊（松戸）	×	西村（まつど遠足）	○	小林（山翠会）	×	豊田（らんとん）
○ 佐藤（らんとん）	×	戸石（民医連）	○	荒井（岳樺）		
県連役員	○	広木（会長）	○	野田（理事長）	×	鶴田（副理事長）
○ 菅井（自然保護）	○	伊東（教遭）	○	安彦（海外）		
全国連役員	×	石川（副理事長）	×	山本（理事）		

○：出席、×：欠席 理事と役員兼務の場合は理事の方に記載

議 事

1. 理事長挨拶（野田）

8 月 11 日の「山の日記念イベント」も盛況のうちに終了しました。関係者の方々、ご協力ありがとうございました。

新型コロナは徐々に鎮静化してきており、行政でも新しい取り組みを始めました。しかし、まだまだ注意が必要です。感染に注意してお過ごしください。

今年度末に向けての作業が始まってきます。各委員会活動に於いても考慮をお願いします。

2. 役員会報告（広木会長）

1) 9 月 1 日（木）ZOOM オンライン役員会実施 14:00～16:00

- ・ 来年 3 月実施の「合同会議」の計画について協力要請
- ・ 8 月 11 日実施の 山の日「田中陽希講演会」についての報告

参加できなかった人も見られるよう、当日横山氏が記録した DVD を 100 枚作成し本理事会で各会に配布した。

3. 各委員会報告

1) 教育遭難対策委員会（伊東）

①事故報告 2 件

<1> 団体名：かがりび山の会

日時：2022 年 8 月 21 日

場所：蓼科山 山頂から 10 分位下った岩場

事故者：61 歳 女性

状況：岩場でバランスを崩し転倒を避けようと右に体重をかけたところ、
右足の膝を捻ってしまった。

傷病名：右膝関節捻挫・右大腿部挫傷

対応：自力下山（2 名パーティー）

＜2＞ 団体名：山の会「岳樺クラブ」

日時：2022 年 9 月 3 日

場所：甲武信ヶ岳 笛吹川鶏冠谷 逆くの字滝

事故者：51 歳 男性

状況：逆くの字滝の右側を登攀中に足を滑らせて滑落、直下の淵まで流された。淵に落ちた際に、衝撃で腰を打撲した。

傷病名：腰椎圧迫骨折

対応：自力下山（4 名パーティー）

＜参加理事からの要望＞

事故報告に、もう少し情報を追加してほしい。

例えば パーティーの人数、自力下山あるいは救助隊要請の有無等

②事故防止・経験交流集会

11 月 5 日（土）10 時～16 時 30 分、千葉市幕張勤労市民プラザにて開催
します。（ちばニュース 9 月号で案内済み）10 月初に別途配布する参加
申込みフォームにて、各会で参加希望者を一括申請してください。

2) 自然保護委員会（菅井）

- ・関東ブロック自然保護交流会 11 月 26 日（土）オンライン交流会
交流会の準備を早急に行う。

3) ハイキング委員会（田中）

コロナ状況次第だが東金あたりの下見を 9 月中に行う予定。

4) 組織委員会（野田）

特になし。

5) 女性委員会（広木）

12 月に石田先生の ZOOM 講演会を検討中。10 月委員会も検討中。

6) 海外委員会（安彦）

9 月 8 日（木）海外委員会を Zoom にて開催：

- ① 今年度は、コロナ禍で、情報交換等にとどまり、海外登山を企画できなかった。

- ② 来年度の海外登山の企画について情報交換。出来れば来年秋頃に企画したい。
- ③ 10月27日（木）オンライン講習会への参加要請
テーマ：ピサンピーク登山報告、講師：酒井莊多氏（船橋勤労者山の会）
- ④ ちばニュース表紙用写真の応募を再度要請。

7) 機関紙委員会（広木）

戸石さん、廣川さんが委員に加わった。

「ちばニュース」が読まれているかを把握する方法を模索中。

4. 房総の山復興プロジェクト「田中陽希講演会」実施報告（広木・安彦）

8月11日（木）に、640余名（チケット事前販売数：740枚）の参加で開催しました。受付、避難誘導、各会の参加者確認、更に、講演会の映像記録や演壇のお花、救護係などに、多くの会員の協力をいただきました。ありがとうございました。

<中間収支報告> 収入：1,185,000円（協賛金・寄付金含む）支出：973,919円

差額：211,081円（税控除書類等郵送代未払分あり）

*差額は、2023年3月までに登山道修復用機材などの購入に充てます。

今後も、房総の荒廃した登山道の復旧作業に協力をお願いします。

以前に設置した案内板が朽ちている。調査を先ずは行い今後の具体化に向けて検討を進めていきたい（会員高齢化や費用負担等の問題を考慮する必要あり）。

5. 役員会からの連絡（野田）

1) 9/3～4 関東ブロック役員交流会参加報告（野田、菅井）

8都県、18人が参加、神奈川県足柄ふれあいの村で開催

① 会員減少・高齢化する一方、SNS等で連絡を取り山に行く若者が増えている。
このような若者を取り込む方法を考えたい。

② 関東で救助隊があるのは東京・神奈川・埼玉の3地方連盟。
警察救助隊と一緒に現場救助活動を行うことは困難。断られる。

③ 茨城県連から「筑波山一般ルート外の立入禁止区への立入は控えて欲しい」という訴え（呼びかけ）があった。

2) 2023年合同会議予定

来年57期は総会ではなく、合同会議（各会代表、理事、役員参加）を行います。

日程：2023年3月4日（土）13:00～15:00 ZOOM利用によるオンライン会議

内容：活動方針の内、内容が変更されたものや、会計・監査報告を行う。

詳細は決まり次第連絡します。参加者は予定をお願いします。

6. 全国連からの情報展開（野田）

- ①「第18回全国登山研究集会」 10/29～30 ホテルコンチネンタル府中（東京）
申込み締切 10/12 野田理事長と田中ハイキング委員長の2名が参加予定

各会でも希望者があれば申し込んでください。

分科会に向けたレポートの募集有り。レポート提出締切：9/30

②「全国登山学校担当者交流会」 11/19～20 京都府 大原山荘、金比羅山
申込み締切 10/31（定員になり次第締切）

③ 山筋ゴーゴー体操の全会員への普及について サポーター養成講座開催

7. 各会理事からの活動状況報告

① まつど山翠会（小林理事）

コロナのためしばらく活動を控えていたが、活動を再開した。

② 山の会らんたん（佐藤理事）

山行は継続して行っている。秋田の山にも行って来た。マイカー利用が多い。

＜参加者からの意見＞

山行中の交通事故があり、当面自家用車は使わず、チャーターバスやレンタカーを使っているが、コスト高となっている。当日保険などの適切な対応策があるとよいのだが…。

8. 全国連理事からの連絡・情報提供等

本日は全国連石川副理事長・山本理事欠席。

「登山時報」電子媒体化等の形式の変更案が検討されている。

9. 今年の県連オンライン講習会の計画（伊東）

ちばニュース 9 月号でお知らせしたように、今年 9 月から 12 月にオンライン講習会を 4 回開催します。まず、第 1 回を下記要領で行います。

9 月 29 日（木）19:00～20:30

テーマ：労山基金を正しく理解し上手に活用しよう

－ 他の山岳保険との比較に見る優位性 －

講 師：鶴田秀雄氏（ちば山の会）

既に『開催案内』と『参加申込書』をメール配信していますので、参加希望者は 9 月 21 日（水）までに申し込んでください。

10. その他協議・連絡事項

1) 10 月理事会

10 月 20 日（木）船橋西部公民館または ZOOM によるオンライン理事会の開催を予定しています。決まり次第連絡します。

2) 労山基金交付申請書の県連代表者の署名・押印について

野田理事長が千葉県連代表者として署名、押印しますので、事故後、けがの処置が終わりましたら交付申請書をお送りください。署名・押印して返却します。

以上

奥秩父甲武信ヶ岳に登る山旅

市川山の会 松宮 俊一

山の会の仲間と6月4日（土）～5日（日）の1泊2日で、初夏の奥秩父甲武信ヶ岳に登った。

朝6時、バスは定刻通り西船橋を出発。中央道は少し渋滞していたが、河口湖方面との分岐を過ぎるとバスは順調に走り、11時過ぎに登山口の長野県川上村毛木平に着いた。川上村は日本一のレタス産地とのこと。白いビニールシートで覆われた畑が延々と続き、農家の方々が苗の植え付け作業に追われている様子だった。技能実習生か若い外国人の方も働いていた。

毛木平に続く林道沿いの白樺や落葉松の林床はベニバナイチヤクソウの大群落、紅色の可憐な花が一面に咲いていた。初めて見る景色に感動。オレンジ色のレンゲツツジも見頃を迎えていた。

毛木平からは千曲川源流遊歩道コースを登る。

甲武信ヶ岳までの標高差は約1,100m、コースタイムは約4時間。天気は晴れ時々曇り。木漏れ日に木々の緑が映えて美しい。林道を進み、十文字峠との分岐を過ぎると落葉松林が広がり、ダケブキが一面大きな葉を広げていた。

千曲川沿いに出て大山祇神社を過ぎると、林道が終わり登山道になる。川沿いの木陰に腰を下ろし昼食。あたり一面にシロバナヘビイチゴの可愛い花が咲いていた。熟した実は食べると美味しいとか。ぜひ一度食してみたい。

溪谷沿いの緩やかな傾斜の登山道を、沢を左右に渡り返しながらひたすら登る。ところどころ台風などの影響で沢沿いの登山道が流され、山の斜面を大きく巻くところがあった。

2時間余り歩くとナメ滝に出る。大きな岩肌を水が滑るように流れている。そばの巨岩の岩肌にはスギゴケなどの緑の苔がびっしり。その側にはコミヤマカタバミの小さな白い花が一面に咲いている。まわりはコメツガやシラビソの原生林。美しい風景だ。

千曲川の溪谷が狭く急になってきた。いよいよ源流だ。しばらく歩くと樹林の中に千曲川・信濃川水源地標が立っていた。河原に降りると、岩の間から水が湧きだしている。ここが日本最長の川の源流だ。一杯の水も感慨深い。味わって飲む。冷たくて美味しい。

ジグザグの急坂を登ると奥秩父主脈縦走路の稜線に出た。かたい蕾のハクサンシャクナゲが繁るガレ場を登ると甲武信ヶ岳の三角錘だ。大きなケルンが積まれた夕闇迫る狭い頂上からは、奥秩父、八ヶ岳、南アルプスなどの山々の展望が広がっていたが、残念ながら富士山は雲に隠れていた。明日に期待しよう。

コイワカガミが咲く樹林の中の急坂を下ると、昔懐かしい雰囲気の中武信小屋に着いた。小屋の前では若者たちのグループが宴たけなわ。テント場にはカラフルなテント。さすが日本百名山、登山者も多い。

コロナ禍、予約制で宿泊人数も制限していると見えて1人に1人分の寝具。ゆっくり休めそうだ。名物のカレー夕食の後、仲間と談話室で歓談し、9時前に床に就いた。

2 日目、ご来光を望むため 4 時前に起床。小屋前のテラスでは多くの登山者がカメラを構えていた。白く広がる雲海の上からオレンジ色の朝日がのぞき、光が広がる。何度見ても荘厳な気持ちになる。

温かい朝食を頂き、準備運動をして、巻道コースから甲武信ヶ岳に登る。朝日に照らされた山々が美しい。富士山もその姿をうっすらと見せていた。

記念写真を撮り、甲武信ヶ岳を後に千曲川源流遊歩道を下る。同じ道でも登りと下りでは景色が違って見えるところが面白い。原生林の中の道を、清らかな溪谷や滑滝、美しい花々や苔、巨岩等を愛でながら気持ちよく歩き、予定通り全員無事に毛木平に下山。北杜市の「たかねの湯」で 2 日間の汗を流し、疲れを癒して帰路に就いた。

梅雨入り前の 2 日間、天候にも恵まれ、久しぶりの充実した山行になった。



ミニコラム①『登山時報ひろいよみ』

『登山時報』2022 年 10 月号（2022 年 9 月 15 日発行）p.32 の記事を紹介します。

<登山時報からのお知らせ>

月刊誌「登山時報」は、2022 年 12 月号を最後に、来年度からは「季刊誌 登山時報」として再出発します。季刊誌は、春号・夏号・秋号・冬号の年 4 回発行する予定です。

これからもご支援をよろしくお願いします。

また、「月刊誌(仮称)労山ジャーナル」A4 版 8 頁建てを毎月発行して、全国連盟の活動報告や行事案内などを掲載していきます。

「季刊誌 登山時報」は A4 版と一回り大きくなります。電子媒体(PDF)や JWAF のホームページ上で閲覧できますが、これまで同様に紙媒体・冊子での購読を希望する場合は有料になります。

紙媒体・冊子の購読料は年間 1000 円(消費税・郵送料込)で、冊子は購読者が指定した自宅等に直接郵送されます。詳細は 12 月号でご案内します。

【編集子注釈】

『月刊誌:(仮称)労山ジャーナル』と『季刊誌:登山時報』は、基本、無料で電子媒体(PDF)配信です。どちらも JWAF ホームページでいつでも閲覧できるようになります。

配信方法や紙媒体・冊子希望購読方法などの詳細については、分かり次第お知らせします。

百名山をめざす仲間と「八幡平～岩手山」に登る

東葛山の会 羽鳥健一郎

東葛山の会は現在 52 名の会員がいます。そのうち百名山を終えた人が 14 名。今回ご一緒した Y さん（78 歳）は 76 座で百名山をめざしています。男女 4 名（平均年齢 73 歳）が二泊三日で岩手県の百名山 2 座を登ってきました。

（第 1 日目）

8 月 6 日（土）鎌ヶ谷—東京 7:04—盛岡 9:24（ジパング利用）駅前でレンタカーを借りアスピーテラインで八幡平へ。11:30 八幡平レストハウス着。前日まで山形県の日本海側は大雨でしたが八幡平は晴れ。昼食後、13:00 から歩き始めました。駐車場～見返り峠～源太森～八幡平山頂～駐車場 15:30 着。2 時間 30 分の歩きは翌日の岩手山の足慣らしとなりました。途中の見返り峠からは岩手山の雄姿がはっきり見えて爽やかな木道歩きが続きました。また木道の両側には盛りは少し過ぎましたが花が次から次と。下山後は盛岡駅前のビジネスホテルへ。



八幡平から岩手山を望む



八幡平の山頂

(第2日目)

起床 4:00、馬返し登山口着 5:55。駐車場は既に車が十数台。登山仕度中に小雨がパラパラ降り始めました。トイレを済ませ鬼又清水で喉を潤し 6:00 出発。一合目まで 1 時間 30 分。大なめり辺りでカップの上下を装着。新・旧道分岐で雨除けを兼ねて樹林帯の多い新道を選びました。これは正解でした。30 分～40 分毎に休憩を取り 10:30 には八合目避難小屋に到着。雨も上がり晴れました！岩手山を見上げながら御成清水をタップリと飲み小休止。持ってきたキュウリをビニールに入れ御成清水に浸けて出発。高山植物帯は花盛り。コマクサを左右に眺めながらジグザグに高度上げ漸く三十三観音像が現れました。火口や火口丘を眺めながらもうひと登り。写真を撮りながら快晴の中、お鉢を巡りながら山頂には 12:00 に着きました。片道 6 時間！頂上は人も少なくユッタリと昼食。快晴でしたが流石に風は強い。記念写真を撮り 25 分ほどで下山を始めました。砂礫の多い短い道を選び八合目の避難小屋へ。冷やしておいたキュウリをかじり乍ら大休止。今回は泊まりませんでした。避難小屋を覗き管理者から話を聞きました。1 泊 1,700 円。水、お湯、カップ麺等、毛布の貸出しもあり。対応も親切。ここに泊まればもっと楽に登れた・・・(次回があれば利用か)。13:35 下山、すれ違った人から眺めが良いとの情報があり旧道を選択。これも正解でした。天気は良く風もあり眺め良し。足元の岩場に気を付けて一気に下山。4 合目で大休止。ここからは新道が良いとのアドバイスがあり登りに使った新道に戻りました。樹林帯に入り日差しも弱くなり、岩場も無くなり疲れた足や体には助かりました。17:00 鬼又清水に到着。タップリ喉を潤し、靴を洗い駐車場へ。4 人とも頑張りました。久々の 11 時間の登山が無事に終わりました。私にとっては 13 年振りの岩手山でしたが初めての山の様に新鮮でした。Y さんの 78 座を祝いその夜は皆で乾杯でした。



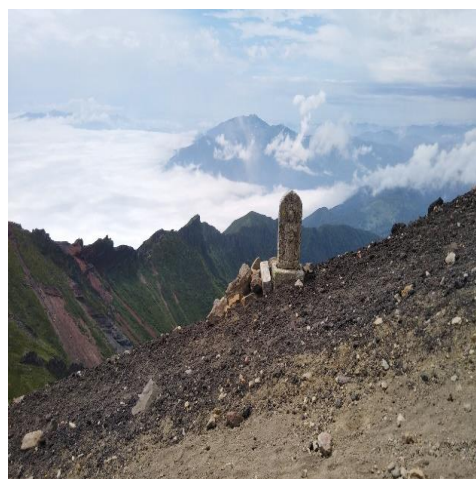
冷たい御成清水



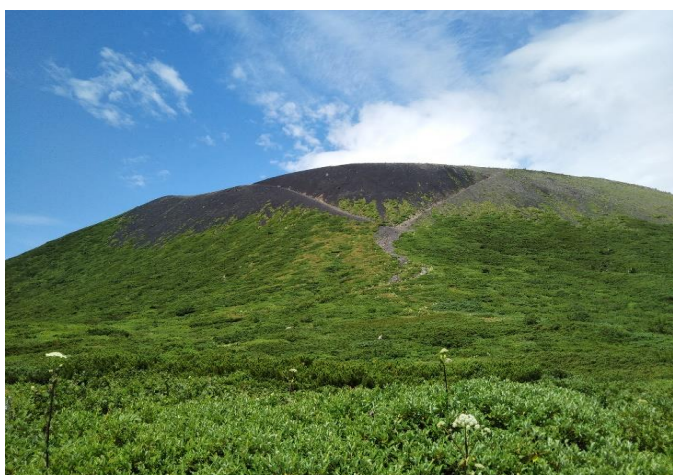
八合目避難小屋と岩手山



山頂にて



観音像の後ろは秋田駒ヶ岳？



八合目から振り返った岩手山

(第3日目)

最終日は無理をせず当初、予定していた姫神山はやめて盛岡市内の史跡や街巡りに変更しました。市内からは岩手山や姫神山も見える中、のんびりと半日を過ごし少し早めの新幹線で帰路につきました。

ミニコラム②『房総の山復興山の日記念講演会 DVD 配布』

9月15日(木)夜に、船橋市西部公民館で『県連9月理事会』が開催され、各会に講演会のDVDが配布されました。

田中陽希さんのウィットに富んだ『3百名山全山人力踏破』の講演を映像とともに楽しみいただける優れものです。

また、このDVDを県連のホームページにアップする準備を進めていますが、ハードルは極めて高そうです。(編集子)



2022年8月18日（木）～20日（土）木曽駒ヶ岳～空木岳会山行報告

かがりび山の会 野田久生

会山行で表記山行を行いましたので報告します。参加者：3人（男2人、女1人）

17日（水）

柏発（車）18:00⇒中央道⇒駒ヶ根市内「道の駅たぎりの里」22:00（雨） 仮眠

18日（木）朝雨

朝から雨のためロープウェイで千畳敷まで行く。（予定はロープウェイを使わずに登山予定であったが、天候不良のため変更した。）9:30 現地ガス、小雨

木曽駒ヶ岳山頂はガスのため残念ながら周囲は全く見えず。12:30 宝剣山荘着（泊）

19日（金）早朝より快晴。木曽殿山荘を目指し稜線を縦走する。

5:40 山荘発⇒6:00 宝剣岳⇒極楽平⇒檜尾岳⇒東川岳⇒14:00 木曽殿山荘着

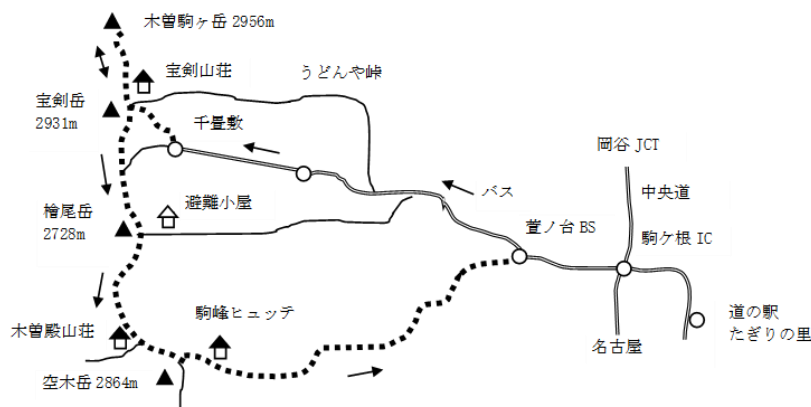
この稜線景色が良く快適であるが、アップ・ダウン、岩場などもあり結構くたびれる。途中雷鳥の親子（3羽）に出会う。

20日（土）曇 空木岳登山、下山

5:30 山荘発⇒空木岳（薄曇）⇒下山道⇒萱ノ台BS 着 13:00⇒入浴⇒柏着 20:00

薄曇りの中、空木岳に登る。眼下に下山路、駒ヶ根市街が展望できる。この下山路思ったより長く、萱ノ台BSについた時にはホットする。

稜線縦走時に運よく天候に恵まれ、快適な山行となりました。



木曽殿山荘で寛ぐ



ガスの中の木曽駒ヶ岳山頂



縦走路より空木岳方面を見る

2022 オンライン講習会開催のお知らせ

事務局 教育遭難対策委員会

(担当) 伊東春正 (かがりび山の会)

メール : itou2385@yahoo.co.jp

昨年 2021 年につづき、今年も『オンライン講習会』を 4 回開催いたします。

『テーマ』、『日程』及び『講師』は、役員会と理事会で次のように決まりました。
約 1 時間の講演の後、約 30 分間の質問の時間を取っています。

<第 1 回> 終了

テーマ : 労山基金を正しく理解し、上手に活用しよう

－ 他の山岳保険との比較に見る優位性 －

日程 : 9 月 29 日(木)19:00～20:30

講師 : 鶴田 秀雄 氏 (ちば山の会)

<第 2 回>

テーマ : 海外委員会より『ネパール・ピサンピーク』登山報告

日程 : 10 月 27 日(木)19:00～20:30

講師 : 酒井 莊多 氏 (船橋勤労者山の会)

<第 3 回>

テーマ : ココヘリの紹介

日程 : 11 月 24 日(木)19:00～20:30

講師 : AUTHENTIC JAPAN 社

<第 4 回>

テーマ : 著書「一生、山に登るための体づくり」の講演

日程 : 12 月 22 日(木)19:00～20:30

講師 : 石田 良恵 先生

後日、『開催案内』と『参加申込書』などを メール配信します。

なお、オンライン講習会は Zoom で行います。

開催日まじかになりましたら、参加申し込みをした方に『Zoom 講習会招待メール (URL 記載)』を配信しますので、その URL をクリックするだけで講習会にアクセスできます。

多くの参加を期待していますので、よろしくお願いします。

1 2月オンライン講習会参考書籍

山登りは、歩くことができれば、何歳まででも続けられます。
安全に長く楽しむためには「体づくり」が欠かせません。
千葉県連にも、「膝痛・腰痛」で苦しんでいる会員が大勢います。
今回は、山筋ゴーゴー体操を進化させた「初心者～中級車向けの
トレーニング」を学びます。



「一生、山に登るための体づくり」

石田良恵 著

購入連絡・問い合わせ先：広木 国昭

danphiro@jcom.zaq.ne.jp

石田先生は、呼びかけます。

登山はゆっくりでも歩ければ、何歳まででも続けられます。
毎日、地道に行うトレーニングやストレッチ、そのための栄養、登山後の
アフターケアなど、いつまでも登山を楽しむための知恵を学びましょう。
安全に楽しく息長く登山を続け「悔いのない生涯」を自分の努力で手に
入れて下さい。

いつでもどこでもトレーニングは可能です。

2022 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。
千葉市内の会場で日帰りで実施し、参加しやすくしましたので、各会の積極的な参加を期待します。
詳細は下記を参照下さい。

記

- 1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会
- 2) 日時 11月5日(土)10時～16時30分 (9時30分より受付)
- 3) 場所 千葉市幕張勤労市民プラザ 多目的ホール
JR 海浜幕張駅より徒歩 13 分
* 昨年と同じ場所です。
- 4) 内容
 - (1)事故報告
今年度発生の事故報告
 - (2)事例研究
八ヶ岳遭難事故（労山会員が凍死）を取り上げグループ・ディスカッション
 - (3)インターネットで山行計画を共有できるシステム「コンパス」の紹介
会の山行管理ツールとしてコンパスがどこまで使用できるかを報告
 - (4)フリーディスカッション
いくつかのテーマから希望するテーマのグループに参加し、
自由な意見交換による情報交流（テーマは検討中）
- 5) 参加申込／締切
別途配布の参加申し込みフォームにて 会で一括申請してください。
教遭委員会 伊東：itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384 10/21 締切
参加者は 40 名程度（スタッフ含む）を予定しており、申込多数の場合は、調整する事が有ります。
また、当日はマスク着用、手洗い・手指消毒を徹底して実施します。



昨年の開催風景

県連活動予定表

10月			11月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	土	全国ハイキング交流集会（山口県）	1	火	
2	日	〃	2	水	
3	月		3	木	役員会 14時～ZOOM会議 文化の日
4	火		4	金	
5	水		5	土	
6	木	役員会 14時～ ZOOM会議	6	日	
7	金		7	月	
8	土		8	火	
9	日		9	水	
10	月	スポーツの日	10	木	
11	火		11	金	
12	水		12	土	
13	木		13	日	
14	金	自然保護委員会 ZOOM会議	14	月	
15	土		15	火	
16	日		16	水	
17	月		17	木	理事会 19時～
18	火		18	金	
19	水		19	土	
20	木	理事会 19時～ 船橋市西部公民館	20	日	
21	金		21	月	
22	土		22	火	
23	日		23	水	勤労感謝の日
24	月	教遭委員会 ZOOM会議	24	木	第3回 オンライン講習会
25	火		25	金	
26	水		26	土	関東ブロック自然保護集会 ←
27	木	第2回 オンライン講習会	27	日	（ちば県連主幹 ZOOM会議）
28	金		28	月	教遭委員会 ZOOM会議
29	土	全国登山研究集会（府中市）	29	火	
30	日	〃	30	水	
31	月				

事故発生時の連絡先

●事故一報は事故発生後一か月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所には常駐者はいません